

令和元年度 第2回岬町行財政改革懇談会議事録

日 時	令和元年10月30日(水) 15:00~15:50
場 所	岬町役場 住民活動センター
出席者	(敬称略) (会 長) 足立 基浩 (和歌山大学経済学部 副学長/教授) (副会長) 宮川 益和 (商工関係) 和中 信隆 (税理士) 中小路 美佐子 (女性団体関係) 辻口 幸人 (教育団体関係) 下出 忠 (農業・水産業団体関係) 川島 宜子 (社会福祉団体関係) 松岡 信男 (公募委員) 小宮山 和実 (公募委員)

1. 開 会

(事務局) 資料の確認(次第、懇談会資料、令和元年度第1回議事録)

2. 会長挨拶

3. 議事案件

(会 長) それでは、お手元の次第により議事を進めさせていただきます。

その前に、本日の会議に傍聴の申出はございますでしょうか。

(事務局) 事務局に2名の傍聴の申出が行われております。

傍聴の許可についてお諮りいただいて、よろしいでしょうか。

(会 長) ただいま、事務局から傍聴の申出の報告を受けましたが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

(会 長) 異議なしと了解を得られましたので、傍聴を許可します。

では、会議を進めてまいります。

本日の案件ですが、2件ございます。1つ目の案件「平成30年度 改革項目別決算効果額について」と2つ目の案件「今後の財政収支見込(普通会計)」の2件でございますが、案件ごとに区切りながら事務局より説明を受け、その後、質疑等を行うというような形でよろしいでしょうか。

(異議なし)

(会 長) それでは、1つ目の案件「平成30年度 改革項目別決算効果額について」事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは「平成30年度 改革項目別決算効果額について」ご説明させていただきます。資料番号1番をご覧ください。

「平成30年度 改革項目別決算効果額について」説明

(会 長) ただいま事務局の説明が終わりました。

1つ目の案件「平成30年度 改革項目別決算効果額について」何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) それでは異議なしをいただきましたので、続きまして、2つ目の案件「今後の財政収支見込（普通会計）」事務局より説明をお願いします。

(事務局) 「今後の財政収支見込（普通会計）」説明

(会 長) ご説明ありがとうございました。2つ目の案件「今後の財政収支見込（普通会計）」何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(委 員) みさき公園の件について、南海がみさき公園事業から撤退することは確定だと思うのですが、本件について、みさき公園自身を岬町としてどう対応していくのか、町民のみなさまの中でも気になっているところかと思えます。例えば、南海のみさき公園事業撤退に伴い、現在みさき公園駅が停車駅になっている特急列車の今後の運行がどうなるのか。それから、先ほど今年も岬町の地価（公示価格）が低下しているという説明があったが、この件により拍車がかかり、さらに地価が低下して岬町として固定資産税の税収が少なくなる等、岬町としてどう考えているのか教えていただきたい。あと、みさき公園自体が町有になるということも聞いているが、このような場所の有効利用をどう考えているのか。みさき公園自身が、「公園」と「動物園」という機能を兼ね備えていたが、動物を飼育することは、経費が非常にかかることで、公園をもっと充実させるという方法もありますし、また、広い範囲での公募を募り発展いただけるといった方法もあつたりと、この件に関しては、早急に取り組んでいかなければならないと思うのですが、岬町の考えを聞かせていただきたい。

(会 長) ありがとうございます。みさき公園についてということですが、今後の考え方について具体的な話など聞かせていただければと思います。まだ決まっていないことも多いと思いますが、何かお答えできますでしょうか。

(事務局) 南海が公園事業から撤退するという方向性は決まったようですが、来年度の公園事業の継続などの形態につきましても、現在南海との協議を進めているところですので、申し上げることが難しいところなのですが、岬町としまして、みさき公園エリアを含めた農業公園とすることも含めて、様々な方向を検討して交流人口の拡大に努めたいと考えております。具体的にどういう形態で公園になるのか、また違う形となるのか等これからになりますが、交流人口の拡大や活性化につなげていきたいと考えております。

(会 長) 岬町としてもいろいろな可能性を探っているという状況ですね。よろしいでしょうか。

(委 員) 公園を廃止した場合、南海と岬町当局との権利書等の約束や契約があると思うのですが、

内容等についてお聞かせ願えますか。

(会 長) 契約等についてということですが、何かありますでしょうか。

(事務局) みさき公園のことになります。今現在の土地については南海が全て持っております。みさき公園は、岬町が開設する都市公園となっておりますので、公園の管理者としては岬町になっています。ただ、公園の用地と施設（動物園や遊具）は全て南海や業者の所有となっており、管理運営については南海が行なっている形態となっております。今回の南海の撤退にあたりましては、岬町が開設する都市公園となっているので、引き続いて公園を開設していく義務があると考えており、南海の方には公園継続のために、南海が持っている公園用地を岬町へ譲渡して欲しいということでお話をさせていただいております。南海の方とも、公園継続ということで引き続き、みさき公園という形を残してくれるということであればということで、協議をいただいております。ただ、みさき公園の継続と言いましても、岬町の方で今ある動物園や遊具のあるような公園を運営するというのは現実的に不可能でありますので、先ほどの説明にもありましたように、新たな公園事業を現在検討しております。幅広くご意見を伺いながら新たな公園づくりしていきたいと考えております。

それと、先ほど質問のありました特急電車の運行につきましては、鉄道事業と公園事業は別物だと聞いておまして、鉄道事業として今の運行形態を変える予定はないと現在のところは聞いております。

(委 員) 今の説明によると、もし南海から土地を転売したいということであったならば、岬町としてそれは阻止する権利があることになるのですか。

(事務局) みさき公園は、都市計画の都市公園と都市公園法の都市公園となっているので、例えば、そこを住宅開発したいであるとか商業地開発をするということは基本的にはできないエリアになっております。公園しかできないエリアとなっておりますので、そこへ第三者が用地を取得されても、活用する方法が現実的でないかと思えます。元々みさき公園は、当時の深日町、淡輪村が協力して公園開設した経緯があります。以前には、泉岬中学校（現在の岬中学校の前身）が、みさき公園の駐車場のところに校舎がありました。そこを公園を開設するというので、岬町が南海へ用地を譲渡したという経過があります。公園に使うという条件で譲渡したという経過もありますので、それらを踏まえると他への転用は岬町としてはできないという考えでおります。

(会 長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。

(委 員) 行革の方針等に関する意見ではないのですが、岬町内を運行するバスについて運行時間を拡大して欲しいということがあります。岬町では高齢化も進んでおり、また土地柄として平坦な道だけではないため自転車での移動が厳しい場所もあり、買い物等でバスの利用させていただいていることもあり、より便利になったらありがたいということで意見させていただきます。

(会 長) 今のは、意見といいますかご要望ということになりますね。確かに高齢化が進む中で、各地でいろいろありますし、別途検討していただきたいと思えます。他にございますでしょうか。

- (委員) 今後の減少が見込まれているふるさと納税について、岬町としてどのように取り組んでいくのか、教えていただきたい。
- (事務局) 今年度から制度改正があり、返礼品については地場産品に限るであることや返礼割合が3割以下であるといった制約が強くなった状況で、予算につきましても、規模額につきましても、予算上になりますが1000万円しか編成していない状況となっております。今後については、返礼品である特産品の検討が必要で、引き続きふるさと納税の収入が得られるように努力はしていきたいと思っておりますが、現実的に難しい場合もあると思しますので、そういった場合には、それ以外の改革項目に力を入れたり、あるいは今回の第3次集中改革プランが令和2年度までとなっておりますので、令和3年度以降について、新たな改革項目を捻出していくことが必要だと考えております。
- (委員) ふるさと納税を改革項目に入れるべきかどうかということもありますが、取り組み方次第で財政状況を改善できることもあるので、聞かせていただきました。以上です。
- (会長) その他にかございますでしょうか。
- (委員) 資料4にある町道西畑線整備事業の事業費がかなりの金額となっているが、ここは世帯数がすごく少ないところで、5年計画の5年後には人口が減り空き家が増えるのではないかと思うのですが、そのような状況の中で多額の金額を投じて整備するはなぜなのでしょう。
- (事務局) 町道西畑線改良工事につきまして工事内容の説明になりますが、現道が約2.5m程度ありまして、緊急車両が火災や山火事に対応できない道となっております。今回の工事では、池谷集落に至るまでの道路整備はできているのですが、池谷集落からさらに奥には佐瀬川集落があり、池谷集落内の道が非常に狭く消防車が通れない状態であり、火災になった時には池谷集落から奥へ進んでいけない状況となっております。防災等の観点から池谷集落内の道とは別に山側へバイパス工事を行い道路整備することで、緊急車両が奥へ進んでいけるよう工事を進めております。
- (委員) 奥の佐瀬川集落には、どれくらい件数があるのですか。
- (事務局) 集落の件数は把握しておりませんが、佐瀬川集落を奥へ進むと和歌山へと接続しております。消防からの話によりますと、池谷集落の中へ通常の消防車両が入っていけないということで、現在は2トン車程度の小型車で、水などを運搬していると聞いております。工事が完了しますと集落内の道を通らずに奥へと進んでいけるものと考えております。以上です。
- (会長) ありがとうございます。その他にかございますでしょうか。特に無いようでしたら報告に移りたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

4. 報告事項 平成31年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について

- (会長) それでは報告に移りたいと思っております。報告事項平成31年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について、事務局より説明をお願い致します。

(事務局) 報告事項について説明をさせていただきます。平成31年度第1回行財政改革懇談会の議事録について、今年度4月に開催しました「平成31年度第1回懇談会」の内容を要点筆記方式により議事録としてまとめさせていただいております。内容等については、事前に配付させていただいており、ご確認いただいているものと存じます。また、本会議録については、岬町ホームページや情報公開コーナーに設置し、公開したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。以上です。

(会長) ただ今、事務局より説明のありました「平成31年度 第1回岬町行財政改革懇談会議事録の確認について」ご意見等はございますでしょうか。

(異議なし)

5. 次回懇談会日程について

(会長) それでは、続きまして、次回の懇談会の日程について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 次回懇談会の日程について説明をさせていただきます。次回の懇談会については、来年の4月頃の開催を予定しております。詳しい日程につきましては、再度調整をさせていただいた上で、改めて通知させていただきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

6. 閉 会

(会長) 本日の案件についてすべて終了いたしましたので、これをもちまして、令和元年度 第2回岬町行財政改革懇談会を閉会いたします。本日は長時間にわたり、慎重にご審議いただき、誠にありがとうございました。